

## 大雪にも負けず・・・定期総会開催



今年は例年になく、週末ごとに関東でも記録的な雪に見舞われました。総会前夜、降り続ける雪に、総会と教育講演会の開催が危ぶまれました。道路や電車の交通網は、その時点でストップ状態。

それでも 2 月 15 日（土）は、降り積もった雪の中、長靴を履いた会員たちが集まり始め、定期総会は無事に開催されました。議事は以下の通り。

- 第 1 号議案 2013 年度事業報告・収支決算及び監査報告
- 第 2 号議案 2014 年度事業計画・収支予算について
- 第 3 号議案 2014 年度役員選任について

すべての案件が提案通りに可決されました。また議案の中では、関係団体である「すたんどばいみー」（外国人当事者支援団体）と「ライオン学校」（東北大震災支援団体）からの報告/提案もなされました。

今年の定期総会で特筆すべきは、「行動宣言」が採択されたことでした。現在の社会状況・政治状況を踏まえ、私たちの活動を微力ながらも前進させなければならないという覚悟の宣言です。その一部を紹介します

新自由主義が世界を席卷し、貧困を生み出す格差社会が日本でも急速に進行するなか、私たち「Ed.ベンチャー」は、「社会資源を持たざる弱い立場の子どもたち」と学校・先生方を支援するために、教育支援に特化したNPO法人として、6年間活動を展開してきました。しかし残念ながら、この間も社会状況はますます弱者たちにとって生きづらい方向へと進んできました。非正規雇用は働く人の4割を占め、貧困が私たちのすぐそばに迫っています。若者たちは就労に不安を抱え、自分たちの将来に展望を見いだすことができません。子どもたちは消費と情報に振り回される一方、過度な競争へと駆り立てられ、功利的な「学力」ばかりが叫ばれるなかで、学ぶことの意味や喜びも忘れられようとしています。

まして東日本大震災以後、弱い者たちへのひずみはますますくっきりと浮かび上がってきました。声高に叫ばれる景気回復も大企業を中心としたものであり、仮設住宅に生活する人々の生活は、まるで忘れ去られたかのように少しも変わることがありません。憲法改正をめぐる世の中に火薬のにおいが満ちている現在も、原発事故によって奪われた地域は目に見えない放射能で汚染され、人々のもとに豊かな生活と故郷がもどって来ることは二度とありません。「あくまでも経済発展を優先する勝ち組中心」の社会を振り返るとき、私たち「Ed.ベンチャー」は、自分たちが果たすべき役割がますます重要なものになっていることに気づかされます。それは、本当に小さな弱々しい活動ではあっても、そのことを必要としてくれている人たちが確実にいるからなのです。こうした状況のもと、私たちは、団体の設立趣意を中心に以下の点を確認し、活動への決意を新たにしたいと思います。(以下略)

## 教育講演会

定期総会の午後は、今年も教育講演会が行われました。昨年は、岩手県と福島県から現職の小中学校の先生をお招きして、震災津波での喪失体験や原発事故での避難体験に、どのように学校の教室で向き合わせたのかという実践報告を聞かせて頂きました。そして今年も、原発事故や大震災以後の日本の社会をどのようにイメージするべきなのかということを中心に、「里の哲人」と呼ばれる内山先生にお話をお聞きしました。

『語るべき未来』を探る ～原発事故が意味するものと「里」の思想～

講師 内山 節 (立教大学大学院教授 哲学者)

東北をおそった大震災と原発事故以来、大きな分かれ道に立たされていることを私たちは知っている。無意識に信じ込まされていたものは壊れ、今まで気付かなかった風景が目に見え始めている。もう一度目をつぶり、無意識の眠りに身をゆだねるのか、それとも、「豊かさ」を問い直す中から再生の道を模索するのか・・・私たちは選ばなければならない。

そしてそれは、子どもたちと共に語るべき未来を、私たちがつかみ取っていくことでもあるのだ

戦後の日本の「経済発展」中心の文明を批判的に検証し、私たちの日常の営みと社会のつながり方の新しい視点をまなぶことができました。ソーシャルビジネスによる起業など、新しい形での社会参画につながる話題も有り、特に若い参加者の方には刺激的な講演会になりました。

## 理論学習会の内容と日程が決まりました

理論学習会の日程が一部決定しました。理論学習会の今年の特徴は、理論学習と「教師相談」を連動させるという取り組みです。例えば、4月は「いじめ」を取り上げた理論学習会を行います。これにあわせて、5月に理論学習会とは別に、いじめをテーマにした「教師相談」を開催し、お互いの事例を検討し合いながら、具体的な教室での取り組みを考えていきます。学習を実際の教室での実践につなげようという試みです。すべてのテーマで「教師相談」と連動できるわけではありませんが、3回ほど企画しようと考えています。

- 4月30日(水) 「いじめ」問題のとらえ方 19:15 富士見文化会館  
・・・5月23日(金) 教師相談「いじめを巡る学級の実践」19:15 富士見文化会館  
5月12日(月) 実践報告「排除しない」学級経営 19:15 富士見文化会館  
6月2日(月) 「大和の教育」の課題 (要) 申し込み 19:15 富士見文化会館  
7月 期日未定 「外国人の支援とその課題」  
8月25日(月) 映画「SAYAMA」鑑賞会 18:00～渋谷中視聴覚室

9月以降は検討中です。今年からは事前に各テーマに関する質問を受け付けます。たくさんの方の積極的な参加をお待ちしています。(担当理事は池田/村本/吉間です。)

## ◇けいじばん・掲示板・keijiban◇

☆石巻の支援を続けているライオン学校への活動費のカンパ、ありがとうございます。おかげさまで、「キリン子育て公募補助金」が決まり、なんとか活動費の目途もたちそうです。これからもご協力をお願いします。(ライオン学校代表 今井美里)

・・・理事の独り言・・・

本当にこの頃は新聞読むのが怖い。世の中考えられないことが現実にとんどん進行している。解釈だけで憲法の本質が変わっていきそうだし、原発事故が全く処理もされないまま、原発の輸出。それで足らずに今度は武器までも・・・本当に新聞読むのが怖いです・・・(K)